

職能科通信 24号

2014年5月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2575

平成25年度のまとめ



写真1 職能科職員

今年度も病院の訓練室内だけの支援に留まらず、地域資源、就労支援機関などとの連携、職場内リハビリテーションの実施などを通して支援を進めます(写真1)。特に高次脳機能障がいの方や在宅就労を希望する重度身体障がいの方々など、地域での対応が難しい方への支援は地域就労支援機関と連携を強化しながら就労支援を行います。また、研修会や事例検討会への参加など地域への支援も進めていきます。(泉 忠彦)

平成25度は600名の方の支援を行いました(図1)。障がい別に見てみますと、外傷性脳損傷の方が293名(49%)で、次に脳血管障がい128名(21%)、脊髄障がい84名(14%)、脳疾患50名(9%)の順でした。

高次脳機能障がいの方は461名で利用者の77%でした。

自営業への復帰を含めて就職・復職をされた方は49名です(表1)。この内高次脳機能障がいの方は38名でした。

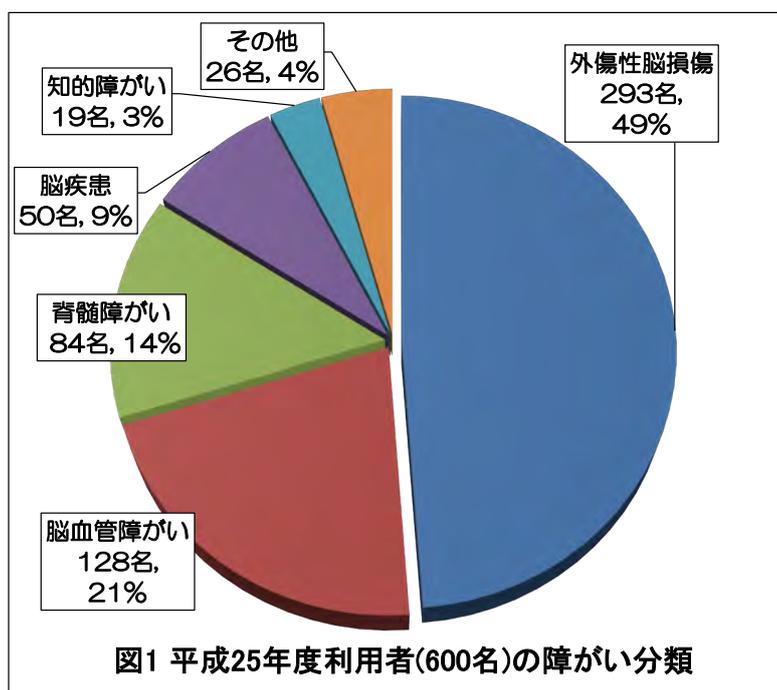


表1 平成25年度の就職者数

就職形態	人数	障がい種別	人数
新規就労	15名	外傷性脳損傷	7名
		脳血管障がい	1名
		脊髄障がい	3名
		脳疾患	1名
		知的障がい	1名
		その他	2名
復職	32名	外傷性脳損傷	18名
		脳血管障がい	10名
		脊髄障がい	3名
		脳疾患	1名
		その他	0名
自営業	2名	外傷性脳損傷	1名
		脳血管障がい	0名
		脊髄障がい	1名
		脳疾患	0名
		その他	0名
		合計	49名

「脳血管障がいの復職支援」研修会

平成 26 年 5 月 24 日(土)、プロミティ厚木にて『脳血管障がいの復職支援』研修が開催されました。研修は講義とグループでの事例検討で構成され、講義は「生計に関する制度について」「失語症とコミュニケーション」「脳血管障がい者への復職支援」「就労支援に向けた作業療法士の関わり」について、それぞれ講師よりお話しいただきました(写真 2)。

医療保険や公的年金、雇用保険など、脳血管障がいの方やその家族をサポートする各社会保障制度、言語障がいの方への対応・コミュニケーション方法の理解、また“復職”をキーワードに脳血管障がい当事者側、職場環境側のポイントを整理し、支援過程を確認しつつ、その方法などを幅広い視点でお話しいただきました。

午後からは北原国際病院リハビリテーション科就労支援室の齊藤氏より講義をいただきました。作業療法士として関わってきた脳血管障がいの方の就労について、現状や支援の実際をお話しいただき、就労支援

室で行っている活動についても事例を通してご紹介いただきました。作業療法士の立場から考え、行っている就労支援を、受講者の皆さんは熱心に聞き入っておられました。

最後に、グループに分かれて事例検討を実施(写真 3)。グループは様々な職種の方で構成され、それぞれの立場から活発な意見交換や討議をされていました。検討後はグループごとに支援方法をまとめて発表していただき、多様な支援方法の提案が挙がりました。

就労支援では多くの機関や職種のネットワークが重要になってきます。今回の研修がそれぞれの支援を繋ぐものになればと感じています。

今回の協力機関と講師は次の方々でした。

北原国際病院 リハビリテーション科就労支援室 齊藤陽子氏

七沢リハビリテーション病院脳血管センター 医療福祉総合相談室 永野正之氏

神奈川リハビリテーション病院言語科 竹本まゆみ氏

神奈川リハビリテーション病院職能科

泉忠彦、松元健、今野政美、小林國明、植西佑香里でした。(植西 佑香里)



写真 2 講義



写真 3 事例検討